

## 平成26年度福岡市NPO活動推進補助金事業報告



# APCC青少年海外派遣事業 ミッションプロジェクト 国内研修

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡



# アジア太平洋子ども会議・イン福岡とは

- 1989年アジア太平洋博覧会「よかトピア」参加事業としてスタートした市民レベルの草の根国際交流事業



## 招聘事業・派遣事業

11歳を中心に小中学生に異文化交流の場を提供。異文化や世界に関心を持つきっかけを与える。



## 育成事業

異文化交流体験をさらに重ね、世界に向かって自国の歴史や文化を紹介できるよう、講義やフィールドワークを通して学んでいく1年半のプログラム。



## ブリッジ事業

APCC経験者が中心となり、自国のため、グローバル社会のために地球市民として実際の行動を起こして行くステージ。

# APCCが目指すビジョン

OMOIYARIの心を持った  
地球市民の育成

こども達の笑顔  
あふれる世界の実現

ブリッジ事業

行動

育成事業

ウイングキッズプログラム

学び

招聘事業

派遣事業

気づき



# 海外ホームステイチャレンジプログラム 〔派遣事業〕

気づき

現地の学校訪問や、現地の子ども達との交流会など  
異文化体験にチャレンジするプログラム

- 1994年からスタート
- これまでに約2600人以上の日本の子ども達をアジア太平洋の国・地域に派遣
- **対象** 小4～高3
- **準備（研修）期間** 3ヶ月間



# 2014夏 2015春 派遣国/派遣人数

## 2014 夏派遣

8月16日～25日

- 香港、ベトナム  
フィジー、モルディブ  
(4ヶ国)
- 団員 (満10歳以上18歳以下)  
58名  
引率者 (18歳以上)  
12名

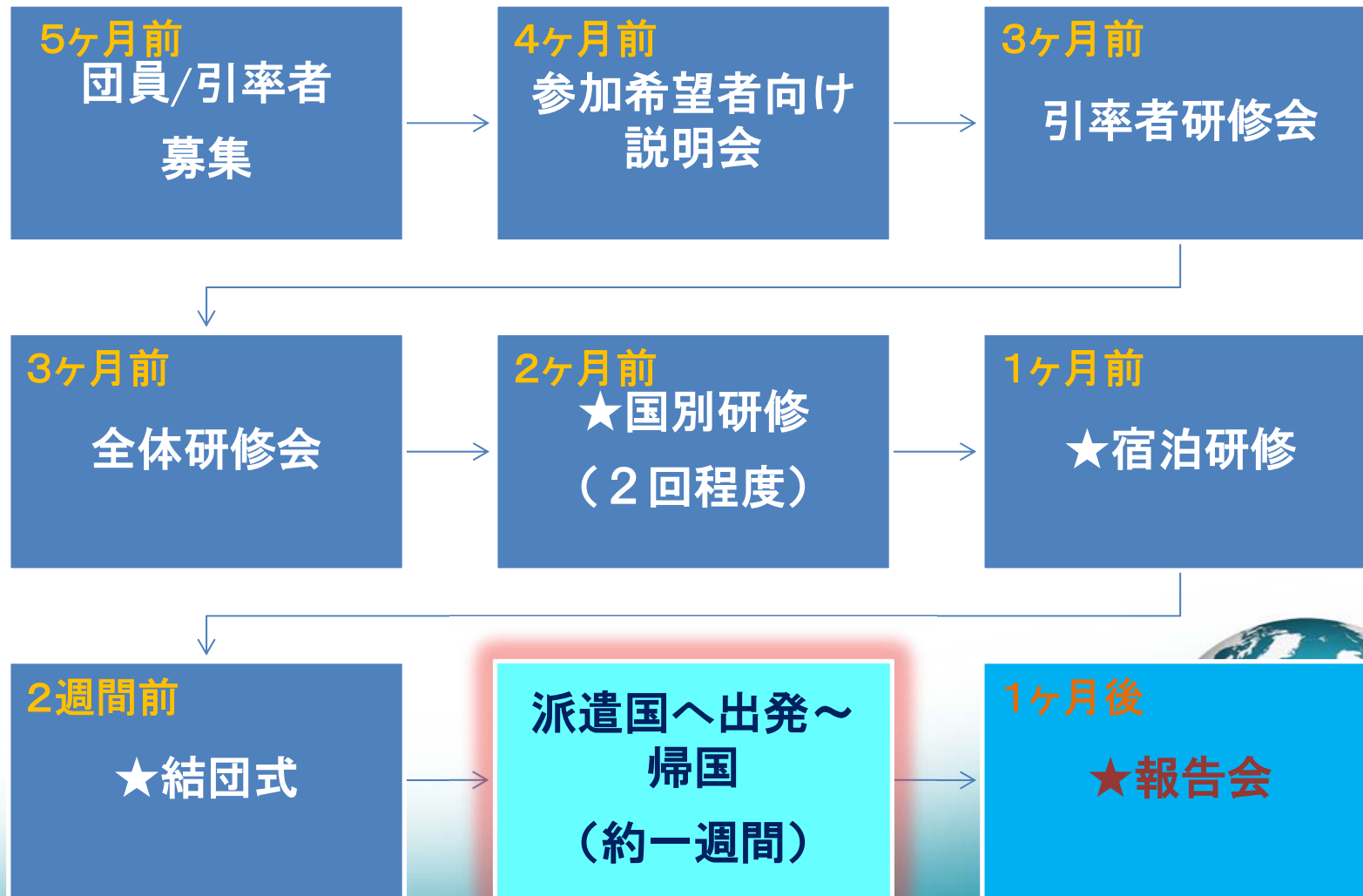
## 2015 春派遣

3月25日～4月1日

- 韓国、台湾、パラオ  
モルディブ、ブルネイ  
インドネシア、ネパール  
ハワイ、スリランカ  
(9ヶ国)
- 団員  
132名  
引率者  
27名



# 出発までのスケジュール



## ☆国別研修（2回程度）



引率者が中心になり  
団ごとに準備を行う

- ・ おみやげ作り
- ・ パフォーマンス練習
- ・ 派遣国について調査
- ・ 団としてのコミュニケーションを図る



# ☆宿泊研修（一泊二日）



寝食を共にすることで  
団の結束を高める

- おみやげ作り
- パフォーマンス練習
- 団体行動の練習
- ホームシックの軽減
- 留学生との交流





# ☆結団式



**出発2週間前！  
保護者も含め最終確認**

- 決意表明
- 出発に向けて最終確認



# いよいよ出発！！



# 現地での様子



ネパール



スリランカ



台湾



# 報告会



自分たちが現地で  
感じたことを公の  
舞台上で発表

ポスターセッションのお題

- ①街
- ②家の中
- ③学校
- ④現地で見つけた日本



# こども達の感想

## 「ホームステイを体験して”ハイ!」

「本当にやさしかったな〜」私は時々思い出します。親切なホストファミリーのおかげでいろいろな体験ができました。ウクレレを習った事、ショッピングを楽しむ事、ドイツの手作りのハイ料理を家族みんなで食べた事、トストフレンドのChelleyちゃんはリズム感があり歌やダンスと一緒に踊って、私ととても気が合いました。シーズン飾りやスピーチなども思い出です。このような交流をハイでできて私はとてもうれしかった。

本当に優しかったな〜と時々思い出します。こんな交流ができてよかったです。



We are the BRIDGE

第26回  
アジア太平洋こども会議・イン福岡  
The 25th Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA

ミッションプロジェクト (海外派遣事業) 2014年度版

フィリピン/ブータン/ブルキナファソ/ニューギニア/ニュージーランド/イタリヤ/アラブ首長国連邦/ベトナム/フィジー/モルディブ

## ネパール団

僕のネパールのファミリーとフレンド

ぼくのホストファミリーは自分のことをいつも気にかけてくれました。具合が悪くなった時はファミリー全員が自分のことを言葉が通じないのに色々なことをしてくれました。ぼくはとても心のやさしい人達だと思いました。



ぼくは、フレンドとして一番楽しめたことは、ネパールの楽器を2人でしたことです。楽器はタブラでマダラ・タブラ・フ・ネパールの楽器じゃないけどギター・ソリオリンもしました。楽器はぼくはよくうまくなり2人で合わせておどかたりしてとても楽しかったです。

ホストファミリーは自分のことをいつも気にかけてくれました。心のやさしい人達でした。



## 効果と課題

### 【効果】

- **チラシを作成し、市内小中学生に配布**  
→幅広い広報を行うことで、事業の認知度アップと応募者の増加につながった。
- **有料の会場の使用**  
→人数規模も大きく会場探しに苦戦するが、有料の会場を使うことで、アクセスのよい場所を確実に押さえ、報告会を開催できた。保護者、興味ある人、ボランティアが参加しやすかった。



## 効果と課題

### 【課題】

- ・ 目的にそった研修開催場所が福岡市内に確保できなかった





NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡